

B. 文化活動助成 申請書

申請日	平成 年 月 日 ※以下、年号は和暦をお願いします		
ふりがな 団体名 《個人申請の方は氏名記入》			
WEB・facebook	WEB や facebook をしている場合、URL を記入してください。		
ふりがな 代表者名 《個人申請の方は記入不要》		tel	
		携帯	
		fax	
住所 《団体申請の方は団体所在地》 ※書類等の送付先	〒 書類等を郵送いたしますので、必ず代表者の住所、又は団体の所在地の住所を記入してください。 代表者の住所で無い場合、書類等がお手元に届かない恐れがあります。		
申請担当者 ※申請書に不備があった場合の 問い合わせ先	ふりがな 氏名	tel	申請書について問い合わせをする場合がありますので、必ず連絡が取れる番号を書いてください。
		携帯	
住所		E-mail	

▼このページの以下の欄は、助成金を充てる活動(申請活動)について記載してください。

助成金希望額 ※上限：30万円	30 万円	上限は 30 万円です。30 万円以内で助成希望額を書いてください。 ※助成額は申請された内容、規模等を審査して決定いたしますので、申請金額と異なる場合があります。	
申請活動名 ※タイトル(30文字以内)	申請活動名は、事業内容や特徴が一目でわかる名称が望ましいです。 例)「文化的・創造的な町づくりを学ぶ”地域づくりワークショップ”」、「〇〇地域固有の文化をテーマにした絵画展」		
ターゲット・対象者	例)市民全般、学生、地域住民、美術関係者、教育機関、県内外からの旅行者		
他機関との連携状況	例)〇〇市文化振興課、NP0〇〇、〇〇ボランティア、〇〇町内会、〇〇学校、〇〇教育委員会、〇〇の専門家、〇〇大学、無い場合は「無」と記入	活動場所 ※市町村名、施設名等	例)〇〇文化センター、〇〇ホール、〇〇公民館、〇〇地域、〇〇商店街、〇〇市△△町
活動の背景となる課題・問題	活動の背景となる課題・問題点を具体的にあげてください。		
申請活動の目的・ねらい	前半に背景となる課題や問題を具体的にあげ、後半にそれを受けての目的を書いてください。 例) 〇〇地域は過疎高齢化が進み、高齢化率は〇%、人口も 10 年前に比べて〇%減少。祭りや老人が語る昔話、歴史的建築物、伝統芸能などの地域に根ざした文化の存続が危惧されている。従来のように高齢者からの聞きとりを記録するだけではなく、語りから感じたことをテーマにして、絵画、彫刻、音楽、演劇などの文化芸術活動につなげ、地域文化を普及することを目的とする。		
申請活動の具体的な実施内容・方法 ※いつ、どこで、どのような内容で取り組むのかを具体的に書いてください	いつ、どこで、どのように、どれくらいの費用で取り組むのか具体的に書いてください。 例) プロジェクトメンバーは、地域の状況に危機感を持つ 20 代の有志「地域まちおこし隊」を中心に、〇〇大学美術学部の学生で構成。助成金は、記録集作成の一部とワークショップ開催費用(会場費)に充てる。 (1) 聞きとり関連/①高齢者から聞き取り調査 6 回(4、5 月各 3 回)、〇〇公民館 ②記録集の作成 50 冊(A4、30 頁、白黒)、地域の小中学校に配布、10 月頃 (2) 普及関係/①「心に残った記録集の一場面を書こう」ワークショップの開催と発表 3 月、〇〇文化センター		
期待する成果・効果	この活動を実施した際の成果や効果、又その後の展開を書いてください。 例) 地域住民同志のコミュニケーションを推進し、地域にどのような文化資源があるのかを把握ながら、自らが地域文化振興に参画しているという意識を醸成することができる。今後、〇〇大学と連携ができるシステムを構築するとともに、地域全体に活動を広げる。		

▼このページの以下の欄は、貴団体または個人の活動全体について記載してください。

設立年月日 ※個人の場合は活動開始日	昭和 ・ 平成 年 月 日 ~		当財団助成歴の有無	<input type="checkbox"/> ある <input type="checkbox"/> ない	
主な構成メンバー <団体のみ記入>	氏名	所属・職業	氏名	過去に当財団の助成を受けたことがある場合は「ある」にチェックしてください。	
	総人数				名
設立趣旨・目的 ※個人の場合は活動趣旨・目的					
これまでの主な活動					
平成 29 年度 全体の活動計画 ※定例・準備・反省等の会議を除く活動計画	月	活動・研究の内容	月	活動・研究の内容	
	4	会議、準備予定、反省会等以外の 主な活動を書いてください。	10	会議、準備予定、反省会等以外の 主な活動を書いてください。	
	5		11		
	6		12		
	7		29/1		
	8		2		
	9		3		
	平成 30 年度の 活動計画	平成 29、30 年度の活動計画がある場合は、書いてください。			
	平成 31 年度の 活動計画				

▼収支計画（29 年度の見込額）

団体または個人 全体の収入（万円）	申請活動全体の支出（万円）				申請活動以外の 支出（万円）		
	当財団助成金の充当先		当財団助成金以外の支出				
当財団助成金	30	印刷費（チラシ・ポスター等）	10	通信費	3	定例会議費	1
助成金（当財団以外）	10	会場費（イベントホールの使用料等）	10	雑費	2	雑費	2
補助金		講師謝金	10	人件費	5		
協賛金							
事業収益							
団費・会費等	3						
合計（=A+B+C）	43 万	合計 A	30 万	合計 B	10 万	合計 C	3 万

▼申請活動に対する他の助成金や補助金（他の助成金等があっても、審査対象となります。）

助成・補助金機関名	助成額	状況
〇〇財団	10	申請中・決定済（いずれかに〇）

※申請書のご記入内容は、当財団の助成事業に関する資料としてのみ使用します。

※貼付する資料は重ねないで必ず枠内に収まるようにしてください。

●制作物・イベントの写真や新聞記事等、活動状況の分かる資料を貼付してください。

●審査委員会に提出できる資料は、申請書の他にこの「資料添付用紙」（その1とその2の2面）のみです。

●貼付する資料は、重ねないで必ず枠内に収まるようにしてください。

●提出資料の返却はいたしません。ご了承ください。

貼付する資料は重ねないで必ず枠内に収まるようにしてください。

●制作物・イベントの写真や新聞記事等、活動状況の分かる資料を貼付してください。

●審査委員会に提出できる資料は、申請書の他にこの「資料添付用紙」(その1とその2の2面)のみです。

●貼付する資料は、重ねないで必ず枠内に収まるようにしてください。

●提出資料の返却はいたしません。ご了承ください。